



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：メッカ・メディナ間の鉄道建設計画 (8月28日付「サウジガゼット」)

1. サウジ鉄道公社 (SRO) は、メッカ・メディナ鉄道 (MMRL : Makka - Madina Rail Link、) プロジェクトの入札資格審査をパスした国内・国際企業から成る6つのコンソーシアムの名前 (Saudi Binladen Consortium、Al-Rajhi Alliance、Saudi Oger Consortium、Saudi-Japanese Consortium、Al-Shoula MMRL Consortium、OHL Consortium) を発表すると共に、技術的プロポーザルの提出を要請した。
2. 入札審査通過者は、同鉄道プロジェクトの設計、融資、建設及び運営を行う。サウジ鉄道の Al-Hokail 総裁によれば、彼らはいずれも高速鉄道技術を提供する能力を持ち、入札準備期間として7ヶ月がある。
3. メッカ・メディナ鉄道プロジェクトは、サウジ鉄道の拡大計画の一部であり、同拡大計画には、ジェッダ・リヤド間950キロメートルの新路線建設及び運営を含むランド・ブリッジ計画、ダンマンとサウジ最大の石油化学工業都市ジュベイル間の115キロメートルを結ぶ新路線建設及び運営、更には既存のリヤド・ダンマン間路線の改良及び運営も含まれている。
4. メッカ・メディナ鉄道プロジェクトは、ジェッダ経由で両聖地都市間450キロメートルを世界で一流の高速旅客用鉄道で繋ぐもので、メッカ、ジェッダのダウンタウンと空港及びメディナが旅客用駅で結ばれる。同プロジェクトが完成すれば、サウジの西部地域の公共交通システムに大きな影響を与えることになる。